

『ローカル鉄道愛』を育む講演会 ～ 百年レイル肥薩線 ～

参加無料

事前申込制
先着450名

ローカル線再生請負人から学ぶ地域鉄道の魅力

2024年10月5日(土曜日)

14:00～16:30

会場：**人吉市カルチャーパレス**(熊本県人吉市下城本町1578-1)

↓↓参加受付↓↓



○プログラム

- 14:00～14:05 開会
- 14:05～14:45 活動報告
(肥薩線again 代表 小澤光二 氏)
- 14:45～15:00 休憩
- 15:00～16:25 基調講演
(大井川鐵道(株) 社長 鳥塚亮 氏)
- 16:25～16:30 閉会



肥薩線 again
小澤光二 代表



大井川鐵道株式会社
鳥塚亮 社長

主 催：JR 肥薩線再生協議会

協 力：大井川鐵道株式会社、肥薩線again

事務局：熊本県企画振興部交通政策・統計局交通政策課地域交通班（電話096-333-2167）

鳥塚 亮（とりづか あきら）

【プロフィール】

1960年6月30日 東京都板橋区出身

明治大学商学部卒業後、塾講師職員を経て27歳の時に大韓航空に入社。

30歳でブリティッシュエアウェイズに移籍。

2009年48歳のときに経営再建中の千葉県の三セク鉄道「いすみ鉄道」の公募社長として就任。

「訓練費用自己資金運転士」や「ムーミン列車」国鉄型車両のキハ28型・58型の導入、この車両を使用した「イタリアンランチクルーズトレイン」など就任して9年間数々の企画を成功などでいすみ鉄道を全国区に押し上げた。

2019年9月に新潟県の並行在来線「えちごトキめき鉄道」の公募社長として就任。

学生専用の自習室をホームに設置、夜行列車、線路の石の缶詰などを就任直後の新型コロナウイルス感染拡大の最中にスタートする。

2021年4月に圧縮空気で作動するD51をメインとした「直江津D51レールパーク」オープン、7月にはJR西日本より譲り受けた国鉄型クハ455型を使用した「国鉄型観光急行」の運行をスタートし、全国から注目を集める。

2022年には2016年に運行を開始した「えちごトキめきリゾート雪月花」のリニューアルで先頭に立ち、お料理のフルリニューアル、サービスリニューアルの指揮をとった。

2024年春に並行在来線における行政からの長期間の支援が決まり、6月の株主総会をもって退任。

2024年6月28日に大井川鐵道株式会社の代表取締役社長に株主総会を経て就任。

いすみ鉄道時代より、全国各地の行政関係や幅広い会社などから講演依頼もあり、継続的に「ローカル鉄道を使って地域活性化」について講演活動も行っている。

小澤 光二（おざわ こうじ）

【肥薩線againの紹介】

肥薩線againは令和2年7月豪雨で流出した第一球磨川橋梁を残したいという声かけが発足のきっかけ。第一球磨川橋梁の保存活動から始まり、存続を願う署名活動では約2ヶ月で1万400筆を集め、JR九州本社へ届ける。JR肥薩線を忘れないようにと、写真展やフォーラム等を独自に開催し、多くの共感を集めている。なお、小澤氏自身、旧国鉄時代のヘッドマークやプレートなど数々の鉄道備品を所有し、SL人吉の客車に飾られていた模型なども小澤氏の貸与による。

J R 肥薩線サポーターを募集中

令和2年7月豪雨で被災し、一部区間（八代～吉松間）で不通となっているJR肥薩線の復旧及び復旧後の利活用を応援していただける方を募集中。（入会費・年会費無料）

併せて、肥薩線の魅力や沿線の見どころをお届けする「100年レイル肥薩線」のフォーワーも募集中。



サポーターズクラブ



100年レイル 肥薩線

会場案内

